



防災だより

～ 地域福祉等推進特別支援事業 ～

社会福祉法人
八重瀬町社会福祉協議会

八重瀬町字東風平1318-1

電話:998-4000

ファクス:998-8999

社協HP

<http://yateshakyo.com>



さいがい つよ やえせちょう めざ

災害に強い八重瀬町を目指して！

令和元年度「親子消防署見学ツアー」

【目的】 災害で被害を最小限に抑えるためには、日頃から災害へ備えることが重要です。また、災害時に最も重要なことは「自助・共助・公助」であり、常日頃から隣近所との関わりや防災に備える情報収集をどのように行い防災力を高めるか家庭で考え備える必要があります。

そこで緊急時や災害時、家族間でどのように災害から身を守ることができるか消防署の見学・体験を通して自然災害の怖さや大切な人を守るために何ができるかを考え「命」の尊さを学び防災意識の向上に繋がります。



施設見学



応急手当講習会



講習会



ご参加ありがとうございました

★参加者の声★

○消防署にある車両のはたらきやとくちょうを知ったり、機械や道具の使い方を実際に見て学んだりできた。心肺蘇生法はしっかり覚えておこうと思った。

○消防車のタンクに 10,000 キロ入っていてタンクが壊れないかと思いました。

○救急救命のちしきがついたのでよかった。など

日 時:令和元年8月9日(金)

9:00~12:00

場 所:島尻消防組合消防本部

参加者:八重瀬町在住 親子 24名

主 催:八重瀬町社会福祉協議会

参加者
約260名

令和元年度 新城自治会防災避難訓練

令和2年1月18日(土)

【目的】 自然災害から自分の身や大切な家族、近隣の人たちを守るためには、一人ひとりが自らの身を守る「自助」とともに、地域で助け合う「共助」が欠かせません。



主催：八重瀬町社会福祉協議会
共催：新城自治会・あらしろ保育園
協力：島尻消防・糸満警察・町赤十字奉仕団

そこで、本避難訓練は、地域住民の防災意識の啓発や災害時要援護者の見守り支援体制を推進し、災害にも強い地域づくりを目指します。

社協・自治会・
保育園がタイアップ！
地域の防災について考え
話し合いました。

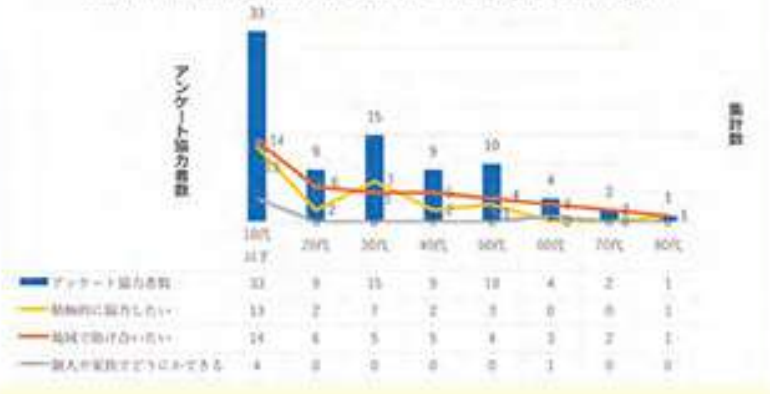


～新城地域住民と保育園保護者の意識調査 (参加者アンケートより)～



防災避難訓練参加者アンケートから

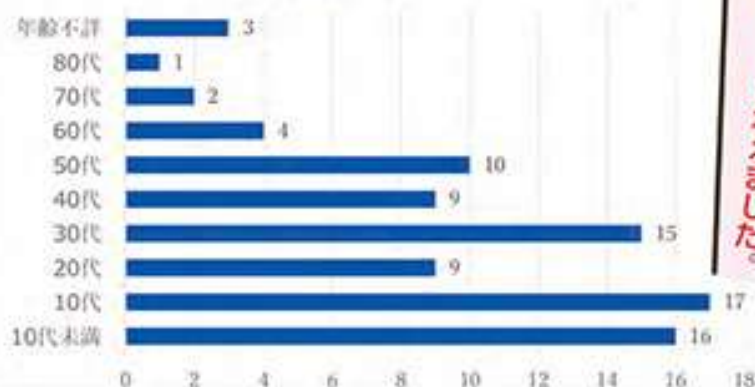
あなた自身や家族が災害にあったとき、避難行動はどのように考えますか？



災害時の連絡方法や避難行動についての話し合いを家族でしたことがありますか？の質問に対して、“ある41%”“ない41%”でした。また、もしあなた自身や家族が災害にあった場合、避難などはどのように考えますか？の質問には“個人や家族でどうにかできると思う5%”に対して“地域で助け合いたい54%”という結果になりました。

私たち社協は、地域に支援を必要とする方がどのくらいいるのか、またどのような支援ができるのかを話し合える交流の場づくりや災害時には住民主体で助け合える地域づくりのサポートを一緒に行ってまいります。

防災避難訓練参加者（年代別）



保育園・自治会とのタイアップで若い世代の参加者が増えました。



非常用持ち出し袋の説明



八重瀬町赤十字奉仕団による炊き出し訓練



社協・自治会・保育園 協力団体

赤十字奉仕団・消防・糸満警察 アンケートからの振り返り

関係機関との連携はとても重要です。今後も定期的な訓練や情報共有をしていきたいと思います。



★参加者の声★

- たくさんの団体に協力してもらい勉強になった。子供と一緒にいない時に災害が起こることもあるので日頃から意識したいと感じた。
- 隣近所の人たちと助け合いができるよう日頃からコミュニケーションをとるように心がけたいです。
- 目が不自由な人の案内をする係をやって物の表現が難しかった。少しの段差でもつまづいたりするので怖かった。など



令和元年度 宜次自治会防災体験会

令和2年2月9日(日)

非常用持ち出し袋
についてどのような内容になって
いるのか…
ひとつずつ確認してみました。



応急手当講習

自助や共助

2020年3月11日で東日本大震災から丸9年となりました。大規模な地震だけでなく、近年は豪雨災害などの自然災害が増えています。

一人でも多くの命を救うため、講習会を取り入れ緊急時の初期対応の方法や知識を学びました。



非常食の試食

日頃から食べ慣れたものを!!

被災時は不安やストレスが大きく、食欲もなくなる方が多くいます。普段と変わらない美味しい食事を味わえるとは限りません。日頃からの食生活でアレルギーや苦手な食べ物等がある方は特に注意して備えてほしいと思います。

体験会では、非常食用で販売されている非常食と日頃から備蓄できるレトルト食品等の紹介をしました。



～宜次地区体験会参加者の意識調査(参加者アンケートより)～



日ごろから災害に備えて備蓄や災害キットの用意をしていますか？



宜次の現況と参加者アンケートから

宜次地区人口958名 高齢者率25% 独居高齢者15%
(令和元年5月時点)

災害時など避難においては、やむを得ず自宅避難や指定されていない施設を避難所として利用することも多い。それは、ライフライン機能が途絶えても避難生活の不自由さを軽減することができるからです。そこで必要なのは「顔の見える関係」。家族はもちろん地域で顔の見える関係が避難生活ではとても重要だといえます。宜次地区の現況は、高齢者率25%また要援護者といわれる方は14%です。そこで、アンケートを取りました。

あなたは、近所づきあいについて必要だと思いますか？の質問に対して、「必要だと思う88%」「必要だと思うが関わりがない9%」さらに、日頃隣近所にどのような人が住んでいるかわかりますか？の質問には「よく知っている78%」「知っているがつきあいはない16%」という結果となりました。私たち八重瀬町社会福祉協議会は、地域住民が顔の見える関係を構築し、交流の場づくりや地域支援を続けてまいります。

あなたは、近所づきあいについて必要だと思いますか？



★参加者の声★

- 各家庭で非常食を備蓄することが大事であり、可能であれば栄養面を考えた種類を備蓄しようと思いました。全種類おいしかったです。
- 地域において定期的に防災フェアなど開いて地域の防災意識を高めることがいざという時に困らず、役に立てるかと思う。
- カレーはおいしい。備蓄食に興味が増えた。
- ご飯が硬いイメージがあったけど、意外とやわらかかった。など



住宅用火災警報器 設置作業の サポート！

“住宅用火災警報器”の設置は平成18年から義務化されています。ご家庭に住宅用火災警報器の設置をされていますか？設置している場合は、設置していない場合に比べ、死者は2/3、焼損床面積、損害額は概ね半減と消防庁より発表されています。

民生委員への
協力要請をしました。

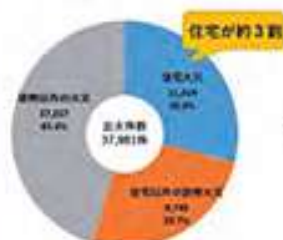


島尻消防職員による協力要請の様子

火災死者の約7割は住宅で発生！

平成30年中の住宅火災の件数は、総出火件数の3割ですが、住宅火災による死者数は総死者数の約7割を占めています。

平成30年中の火災件数



平成30年中の火災死者数



消防庁HPより

火災で亡くなった方々のうち、**約7割が「逃げ遅れ」で夜間就寝中に発生した火災によるものが多くを占めています。**

- ※ねじ止めですので特別な工事は必要ありません。設置場所の確認や設置作業が困難な世帯へは取り付けサポートをしています。
- ※共同購入を推奨しています。設置や購入に関するお問い合わせはお気軽にご相談ください。



住宅用火災警報器－島尻消防に協力－



島尻消防より、高齢者や独居、障害等の理由で火災時の避難が困難である世帯へ住宅用火災警報器設置啓発の協力依頼がありました。

民生委員へ住宅用火災警報器の設置効果や設置義務について説明会を行いました。



— 子供たちも地域の見守りをお手伝い —

バランスの摂れたお弁当を配達しながら、高齢者の見守り・安否確認なども行っています。



小学生職場体験 配食編



利用者さんへお届け



食事の仕分け

対象者 (町内に居住)概ね65歳以上の高齢者世帯、独居世帯で栄養改善と定期的な見守りが必要な方

※栄養バランス・減塩・きざみ・おかゆ等個々に合わせて提供します。



応急手当講習会

ミニデイサービス利用者等を対象に応急手当講習会を開催しました。“高齢者にもわかりやすく”を心がけ開催しています。心臓マッサージや熱中症対策、止血方法など対象者の希望に合わせてゆっくり行います。



※応急手当講習会の開催は、お気軽にご相談ください。小人数でもOK



11月5日 広域避難訓練

11月5日は「津波防災の日」。「稲むらの火」という津波災害をテーマにした昔話が由来である。村の高台に住む庄屋が地震の揺れを感じたあと、海水が沖合へ退いていくのを見て危険を知らせるため、稲の束(稲むら)に火をつけそれを火事と見て消火のため集まった村人たちを高台に避難させたため多くの村人が助かったという話です。



※防災講話・防災紙芝居は、お気軽にご相談下さい。

講習会や避難訓練を実施しています

社会福社会館避難訓練・応急手当講習会

【職員対象】 緊急時に備えて年に1回避難訓練・講習会を受講。現場を想定した訓練でスキルアップに取り組んでいます。



—緊急医療情報キット—登録無料



①119番通報



②到着！緊急活動



③確認



④搬送(かかりつけ医など)



「緊急医療情報キット」は、万が一の有事に備え筒状の専用容器に個人の医療情報を入れ、緊急時の対応を迅速にし、消防と連携するものです。冷蔵庫に保管して備えます。



やってみよう！「災害図上訓練！」

防災教育は楽しみながら行うことができます！
災害図上訓練【Disaster(災害)Imagination(想像)Game(ゲーム)】をご紹介します。

生活している地域で大きな災害が発生した場合を想定して、みんなが一緒に対処策を考えるというものです。地域ぐるみ、町ぐるみで災害に対して組織的に活動することの重要性を知ることができます。

例：高台はどこ？危険な場所はどこ？地図に印をつけてみよう。

編集後記

2020年3月11日で東日本大震災から丸9年となりました。過去の災害を風化させず一人でも多くの命を守るため八重瀬町社会福祉協議会では専門分野に関わらず、住民が自らできる避難の自立や災害時要援護者への支援を地域の力で自助・共助の力を発揮できるよう取り組んでいます。

八重瀬町社会福祉協議会 防災担当